

A O Z O R A

# あおぞら

OKAYAMA REHABILITATION HOSPITAL  
NEWS & TOPICS

Vol.95



**新年のご挨拶 / 医療機能評価認定**

**リハビリノート**  
**「靴の選び方」**

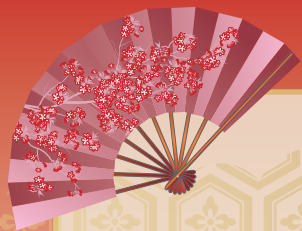
**あおぞら通信**  
**「退院時アンケートの集計結果報告」**  
**「退院後フォローアップを始めています！」**  
**「文化祭」**

**あおぞらニュース**  
**「70周年記念式典」**  
**「DMAT訓練」**

**岡山失語症友の会 コスモス通信**  
**「手記『また色々な活動を再開したい』」**

 **岡山リハビリテーション病院**  
OKAYAMA REHABILITATION HOSPITAL

<https://www.okayama-reha-hp.or.jp/>



## ■ ■ 新年のご挨拶

皆様あけましておめでとうございます

昨年、当財団創立70周年にあたり記念式典を開催することができました。改めて今までの歴史を振り返ることができ、多くの方々にご参加をいただき、いかに地域の多くの皆様に支えられてきたのか、また一緒に支えてくれた多くの職員の努力によりここまでくることができたことを実感いたしました。

昨年は長年の課題であった病院機能評価の受審に向けて、職員全員で力を合わせて取り組みました。2月に3rdG(リハビリテーション病院)と、4月に高度・専門機能(回復期リハビリテーション)を受審し、無事合格することができました。

当院の経営目標にある『質の高いリハビリテーション専門病院』であるために、今年もさらなる研鑽を積みたいと思っております。今まで積み上げた当院の強みである患者さまの在宅復帰支援・社会復帰・復職支援についても、さらに力を注ぎたいと考えております。

そして、公益財団法人として、地域医療への貢献や地域活動の支援については、同法人である旭東病院とも力を合わせて進めていきたいと思っております。

今年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2024年1月 冬



病院長 十河みどり

## 医療機能評価認定

当院は、日本医療機能評価機構より『リハビリテーション病院』としての認定に続き、岡山県初となる『高度・専門機能回復期リハビリテーション』の認定を受けました。(10月16日付) これからも職員一同、地域の医療を支え、質の高いリハビリテーションを提供できるよう努力していきたいと考えています。

### 医療機能評価とは？

病院などの医療機関において、最も信頼されている医療の質を評価する第三者評価制度です。厚生労働省や日本医師会等の出資により設立された『(財)日本医療機能評価機構』が、公正中立な立場で医療機関を病院運営や患者サービス等の視点で審査します。



冷気が一段と深まり冬の訪れを感じる今日この頃、お障りなくお過ごしでしょうか。今回は靴の選び方についてご紹介します。



# 靴の選び方



靴を選ぶときに、足の長さだけ測れば良いと思っていませんか？ 足の長さはもちろん重要ですが、**足囲（親指と小指の付け根を1周した長さ）**と呼ばれる横幅もとても重要です。

足囲を無視して靴を選んでいると、人によっては無茶な靴選びとなっている恐れがあります。日本では足の横幅が大きい方が多いため、靴によっては横幅で合わせると長さが大きい靴になり、高齢者では転倒の危険性も高くなります。そこで正しいサイズ計測をして、ピッタリの靴を選びましょう。



女性用サイズの例 ※ E は足囲を表す単位（靴に表記されていることが多い）

足長	E	EE	EEE	EEEE
23cm	22.8cm	23.4cm	24.0cm	24.6cm
24cm	23.4cm	24.0cm	24.6cm	25.2cm
25cm	24.0cm	24.6cm	25.2cm	25.8cm
26cm	24.6cm	25.2cm	25.8cm	26.4cm



一般的な靴は、ほとんどの靴は踵が高い構造となっています。



そのため脳卒中片麻痺患者さまが装具を履いた上で、一般的な靴を履いてしまうと装具の角度が変わってしまい歩行への影響が出てきます。ですが装具用の靴はつま先も踵も並行となり、片側ずつサイズの変更もできるため本人に合った靴を選ぶことができます。



当院に靴のカタログもありますので、お気軽にスタッフに声をかけて頂ければと思います。皆さんも是非、自分の足に合った靴を履いて、楽しく歩きましょう！

当院では、よりよい医療サービスを提供していくために、退院なさる患者さまご家族さまにアンケートの記入をお願いし、記入後返信用封筒で郵送して頂いております。このたび令和5年1月～6月にご返送頂いたアンケートを単純集計し、以下の結果を得ましたので、一部ですがご報告させていただきます。尚、ご返送頂いたアンケートはプライバシーポリシーに従い厳正に保管・管理させて頂いております。

### ■全体的医療サービスについての満足度 (図1)

図1のように61%の方に「大変良い」評価を頂きました。昨年の56%を上回ることができました。

昨年に続き80%以上の良いの、ご回答からは患者さまが目に見える回復をされ喜ばれた事、スタッフの優しく親切で丁寧な対応や患者さまご家族さまに寄り添う姿勢などが良いなどのご意見をいただきました。

今後も院是の「しんせつな態度、ていねいな言葉」に、努めて参ります。

### ■スタッフの対応についての満足度 (図2)

スタッフの対応に対しては、平均で82.1%が大変良い・良いの評価で昨年の86.6%を下回りました。

言葉遣い・対応に不満と感じられているご意見もありましたので、2023年度の目標を「やさしく相手を敬う言葉遣いをしよう」を掲げました。患者さまの気持ちやご意見を大切に接遇に取り組んで参ります。

### ■その他のご意見

- ・入院時不安が強かったがスタッフの温かい対応で安心できた。
- ・職員の皆さまがとても明るく対応がよく療養環境にも感銘を受けました。
- ・洗濯の受け渡しの際に丁寧に様子を教えてもらえたが面会できず不安だった。
- ・夜間大声が聞こえたり同室者のいびきで入眠困難なことがあった。師長より対応してもらったが解決には至らなかった。
- ・売店へ行けず不便だったが移動販売や代行して買い物をしてもらいありがたかった。

### ■その他のご意見により改善したこと

- ・面会禁止について毎月多数のご意見をいただいていた。8月より予約制で人数制限を設けて面会を再開しました。10月には時間制限はありますが予約なしで人数制限なしに変更いたしました。面会制限の緩和について今後も検討してまいります。これら患者さま、ご家族さまの貴重なご意見を大切に、これからも職員全員が一丸となり患者さまご家族さまへ満足頂けるサービスを目指していきたいと思っております。

接遇委員会

図1 全体的医療サービス

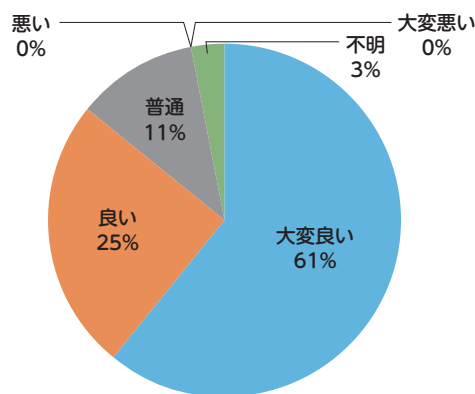
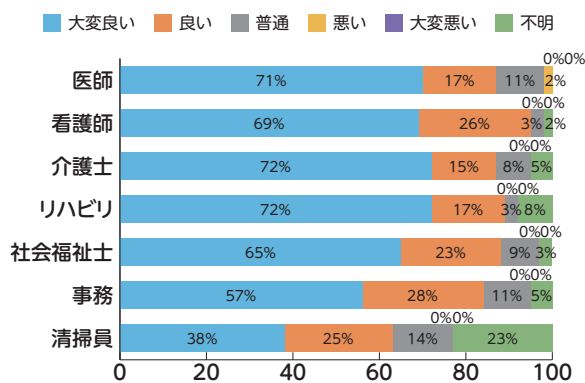


図2 スタッフの対応についての満足度



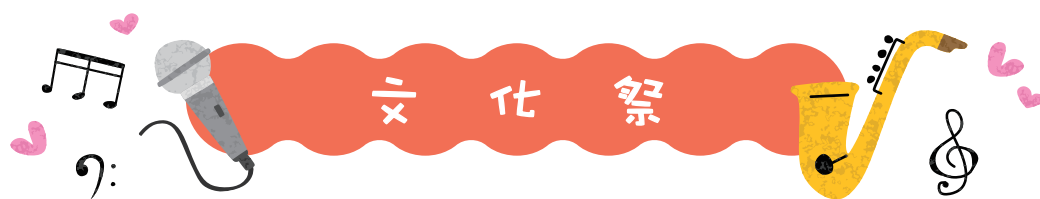
※統計表中の数字は、四捨五入による端数を調整していないため、内訳と計は必ずしも一致しない。

## 退院後フォローアップを始めています！

当院退院直後は、病前とはお体の状態も大きく変わり、生活に支障を来すことが少なくありません。せっかく自宅に退院したのにすぐに転んでしまうこともあります。

そのため、今年度より、退院後に患者さま・ご家族さまが望む生活が送れているか、困っていることや不安はないかということに対して相談・支援をおこなう目的で「退院後フォローアップ」をおこなっております。

また、患者さま・ご家族さま等からお聞きした内容は今後の退院支援に活かしていきたいと考えています。



10月14日(土)に4年ぶりの文化祭を開催しました。新型コロナのため久しぶりの開催でしたが、今年も当院スタッフが漫才と弾き語りを披露しました。当日は、40名以上の入院患者さまに参加していただきましたが、漫才に笑い、歌に涙される方もおられました。これからも、こうした院内のイベントが患者さまの療養生活の楽しみとなれば幸いです！



# あおぞらニュース

## 70周年記念式典

2023年9月30日（土）ANAクラウンプラザホテルにて、記念式典『公益財団法人操風会 創立70周年祝賀会・地域医療連携懇親会』が開催されました。地域の医療機関の先生方や、当院関係者の皆様に多数ご参加いただきましたこと、心より感謝いたします。当法人名は、創立者の一人である土井健夫が所属していた現岡山朝日高校柔道部の部歌「ときわに青き操山の山下風にさらされて…」の歌詞より「操風会」と命名されました。いつまでも青春の心を失わず努力してほしいという創立者の思いを受け継ぎ、今後も地域の皆さまと共に歩んで参りたいと思います。



## DMAT 訓練



11月25日（土）、中国地区DMAT（災害派遣医療チーム）連絡協議会実働訓練をおこないました。当院では、岡山地域大雨・洪水警報、および旭川の氾濫危険情報（レベル4）が発令され、旭川の堤防が決壊し、河川が氾濫したという想定のもと訓練をおこないました。当日は、地域住民の方々にもご参加いただきました。島根県よりDMATの医師、看護師、業務調整員の方が来院され、院内の訓練だけでは気づかない課題や改善点について指導していただきました。災害は気候変動などにより、ますます現実的なものとなっています。いざという時には迅速に行動できるよう、病院としても取り組んでいきたいと思ひます。

# 岡山失語症友の会 コスモス通信

## 手記「また色々な活動を再開したい」 佐藤 恵子

「あれ、どこにいるんだろう…」

目が覚めた時、自分に何が起こったのか分かりませんでした。看護師さんの姿が目に入って、病院にいることが分かりました。

後で知ったのですが、「左アテローム血栓性脳梗塞」で倒れた私は、救急車で病院に運ばれ、血栓を溶かす治療を試みて貰いましたがうまくいかず、別の病院に移って、鼠径部からのカテーテル治療により血栓を取り除いて貰ったらしいです。お陰で一命を取り止めることはできましたが、軽度の右半身麻痺と軽い失語症が残りました。

20日後、リハビリテーション病院に転院しました。それからはリハビリ漬けの毎日でした。言語訓練では50音の並べ方、文字の書き方、九九の覚え方、絵本の読み方などの訓練が続きました。宿題もありました。少しずつ成果が出てきましたが、単語が浮かんできそうなのに言葉にならなかったり、話そうとしても言葉がつかえたりします。また、パソコンの使い方やメールの打ち方などの訓練では、単語が出てこなくて文章を打つことはなかなか困難でした。でも、言語聴覚士の先生が優しく教えてくれるので、ゆっくりだけど文字が書けるようになってきました。

身体の方は、ふらつくこともなく歩くことはでき、病院の周りを歩く訓練などをしました。早歩きでは、「右足が怪しい」と指摘されましたが、自覚はありませんでした。退院近くになった頃には、万歩計を付けて休み時間に3～5千歩を歩きました。

退院したらまた車の運転をしたかったので、シミュレーションの機械で3回試してみました。

6か月間リハビリを頑張りました。入院中に体重が15kg減りました。(今はしっかり戻っていますが)

辛かったのは入院中ずっと家族に会えなかったことです。コロナの関係で家族との面会は禁止でした。退院の説明の際にやっと会う事が出来ましたが、折角会えたのに、言葉がなかなか出てこなくてもどかしい思いでした。



グループトークの様子



コスモスで発言する佐藤さん

帰宅してからは、どこに行くのも主人の車でした。1か月经った頃、運転免許センターに行き、1時間運転を見て貰って大丈夫と運転許可を貰いました。今では主人の厄介にならず、どこにでも出掛けています。

もう少し改善したら、子供たちへの絵本の読み聞かせや、「玉野なんでも相談会」、認知症サポーター養成活動などを再開したいと思っています。

リハビリの先生にはとても感謝しています。ありがとうございました。

## ● 当院へのアクセス

### ● 岡電バス

岡山駅前バスターミナル・  
天満屋バスターミナルより  
「岡山ふれあいセンター」  
「三幡南」「新岡山港」行き乗車  
→「操南団地入口」停留所下車すぐ。

### ● お車の方

国道2号線倉田交差点より  
県道45号線を南へ100m  
岡山桃太郎空港から… 約60分  
岡山駅から…………… 約20分  
新岡山港から…………… 約10分  
岡山ICから…………… 約40分  
早島ICから…………… 約30分



### ● 経営理念

- 1 安心して、生命をゆだねられる病院
- 2 快適な、人間味のある温かい医療と療養環境を備えた病院
- 3 他の医療機関・福祉施設と共に良い医療を支える病院
- 4 職員ひとりひとりが幸せで、やりがいのある病院

### ● 院是

しんせつな態度 ていねいな言葉

### ● リハビリテーション基本理念

- 1 私たちは、患者さま・ご家族さまの自己決定を尊重し、患者さまにそれぞれの疾病・障がいにあった支援を可能な限り行い地域での生活を旨とし、さまざまな活動の質を高めることに努めます。
- 2 私たちは、急性期および地域医療・介護に携わるスタッフとも密接な連携を図り、回復期から生活期までの幅広いリハビリテーションサービスの提供を行います。
- 3 私たちリハビリテーションに携わる職員は、患者さまの情報を常に共有しチームアプローチを行うことで患者さまだけでなく患者さまを取り巻くご家族さまや環境も考慮し、社会における患者さまの役割を提案し支援いたします。
- 4 私たちリハビリテーションに携わる職員は、常に新しい医療知識・技術の習得に努めます。

### ● 看護部の理念

おもいやり心、親切な態度、温かい言葉・笑顔で自立をうながす看護をめざします。

### ● 患者さまの権利

- 1 人権尊重の権利  
患者さまは、「人格」を尊重した、思いやりのある医療を受ける権利があります。
- 2 公正な医療を受ける権利  
患者さまは、差別することなく、公正な、最良の医療を受けることができます。
- 3 診療情報に関する権利  
患者さまは、当院で行われたご自身の診療に関する情報を提供されます。
- 4 インフォームドコンセント(十分な説明に基づく同意)と自己決定権  
患者さまは、医療の内容・治療方針・検査内容・危険性などわかりやすい言葉で説明を受け、理解し、納得のもとに適切な医療を受ける権利があります。  
また、医療方針として、他の医療機関での医師のセカンドオピニオン(主治医以外の医師の意見)を受けることができます。そのために診療情報を請求することができます。
- 5 プライバシーの保護と秘密保持  
患者さまは、当院での可能な範囲で、他人に侵害されない権利があります。
- 6 ケア(医療と介護)の連続性を求める権利  
患者さまは、自分のケアの連続性を期待し、病院がどのような保健・医療・福祉機関や教育機関と連絡がついているかに関する情報を受け取ることができます。

通所リハビリテーションの  
お問い合わせは…

公益財団法人操風会 岡山リハビリテーション病院内 通所リハビリテーション事務所  
TEL.086(274)7020 FAX.086(274)7031

訪問リハビリテーションの  
お問い合わせは…

公益財団法人操風会 岡山リハビリテーション病院内 在宅支援室  
TEL.086(274)7001 FAX.086(274)7010



公益財団法人 操風会  
**岡山リハビリテーション病院**  
OKAYAMA REHABILITATION HOSPITAL



〒703-8265 岡山市中区倉田 503-1

TEL.086(274)7001 FAX.086(274)7010

ホームページ <https://www.okayama-reha-hp.or.jp/>